



第30期 横浜マイスターを選定しました

～木製楽器製造（弦楽器）の職種から初選定！～

横浜市では、1996年から、市民の生活・文化に寄与する卓越した技能職者の方を「横浜マイスター」に選定する事業を行っています。

横浜マイスターは、学校やイベントなどで広く技能の魅力を伝え、後進を育成し貴重な技能を継承するための活動などを行っています。

このたび、横浜マイスター選考委員会（委員長：松留 慎一郎 氏 職業能力開発総合大学校 名誉教授）における厳正な選考を経て、第30期となる令和7年度の横浜マイスターとして、新たに1名を選定しました。楽器製造に携わるマイスターは、初選定です。

これにより、事業開始以降、選定された横浜マイスターは、総勢72名となります。

称号授与式は、10月21日（火）14時から市庁舎31階レセプションルームにて開催し、称号授与証を贈呈します。（一般の方の見学はできませんのでご了承願います）

令和7年度選定（第30期）横浜マイスター

職種：木製楽器製造（弦楽器）
氏名：福田 喬史（ふくだ たかふみ）さん
年齢：48歳
勤務先：fumi's Violin Shop

（フミズヴァイオリンショップ）
神奈川区西神奈川1-8-21
アトリエClara 101

※プロフィール及び技・活動の紹介は裏面参照



裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





木製楽器製造(弦楽器) 福田 喬史さん

プロフィール

子どもの頃から楽器に親しむ中で、ヴァイオリンの造形と音色に魅了され、製造に興味を持つ。高校卒業後、日本のヴァイオリン製作界の礎を築いた無量塔 蔵六 氏が教える東京ヴァイオリン製作学校にて学ぶ。渡独し弦楽器専門店 (Jens Peter Schade) で職人として働いた後に帰国、株式会社 Music Plaza 勤務を経て 2017 年に独立し、fumi's Violin Shop を開業。2002 年チャイコフスキイ国際コンクール 製作者部門にチェロを出品し、総合第 3 位、音響第 1 位受賞。受賞作品はモスクワ グリンカ中央博物館に所蔵されている。日本弦楽器製作者協会理事。

技・活動の紹介

福田さんは、製造する弦楽器の「表板」等の板の厚みに関して、独自のタップトーンを駆使した技法を確立しました。このタップトーンとは、板の厚みを削る際に、適切な厚みを数値だけでなく板を指で叩いた際の音を聴き分けて判断する技法のことです。これにより1本1本個性が違う木材の性能を最大限に引き出し、美しい音の弦楽器製作が可能となりました。薄く削り過ぎると当初は響いても10年後に美しい音が鳴らなくなることもあるため、美しい音を長く奏でられるよう絶妙な厚さに仕上げています。

株式会社 Music Plaza 時代には 10 年以上にわたり数々の銘器の修理調整を担当しました。プロアマ問わず全国より数多くの奏者に指名をいただき、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ等の調整、弓の毛替えなどを手掛けました。修理の技術が製作時に活きることや、その逆も然りなので「製作なくして修理なし、修理なくして製作なし」が持論です。

ヴァイオリンは誕生から500年が経つ歴史ある楽器です。この長い歴史が今後も受け継がれていくことを願い、福田さんは次の世代へ技術を伝えていきたいと考えています。



過去に選定されたマイスターの情報は、市ホームページに掲載しております。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/ginou/meister.html>



※本件は横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

※称号授与式の取材を御希望される報道機関の方は、13時45分までに直接会場へお越しください。

お問合せ先
経済局雇用労働課長 新谷 雄一 Tel 045-671-2303



GREEN × EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

